

小学校にて「火災の知識を深める授業」を実施しました。

株式会社パロマ（愛知県名古屋市/代表取締役会長兼社長：小林弘明）は2月16日（木）、名古屋市消防局、名古屋市瑞穂消防署、株式会社名古屋グランパスエイトと共同で、「火災の知識を深める授業」を実施いたしました。



授業は名古屋市立堀田小学校の4年生・5年生の全88名を対象とし、生徒たちの身近で起こり得る火事の危険性や、火事が起こってしまった時の身の守り方、ガスこんろを使うときの注意点などを確認しました。実際の消火器体験も行い、火災に対する日々の意識を向上させるものです。



今回の授業で使用した教材「もしものための防火ハンドブック」は、昨年9月1日の防災の日に、名古屋市立の全小学校266校の4年生・5年生約37,000人に配布したものです。パロマはガス器具メーカーとして、このような活動を通し、防災防火の一助となるべく、引き続き活動してまいります。



【防火ハンドブック URL・QRコード】

<https://www.paloma.co.jp/vc-files/vs-files/csr/safety/pdf/boukahandbook.pdf>

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。